

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	インテリア設計実習 2
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名	インテリア専攻	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	第 3 版コンパクト建築設計資料集成（丸善）／配布資料				
担当教員情報					
担当教員	小林 郁夫、田島 葵			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士
学習目的					
既存マンション一室のスケルトンリノベーションの提案を通して、学生がインテリアデザインの楽しさに興味を持つことを第一の目的とする。インテリアデザインは一般の建築設計と違い、インテリア空間を構成する要素が目で見、手に触れて、音を聴いてなど、「五感で感じる」ものとなっている。その要素である「マテリアル・色・テクスチャ」の特性および効果を知り、理解できること。さらにはインテリア設計に必要な図面表現などの基礎知識を身に付けることを目的とする。また、インテリアデザインで重要となるコーディネート・プレゼンテーションを身に付けてもらうことを目的とする。					
到達目標					
この科目では、学生が以下のことが出来ることが目標である。クライアントに対して学生自身が企画提案した内容をまとめ上げ、クライアントに対して「形」として表現する力を養うことが目標である。クライアントに分かりやすく伝える為に内装材量や色の組み合わせを知ったうえで、（1）イメージシート（2）カラースキーム（3）エレメントボードを作成し、プレゼンテーションの仕方を身に付けること目的である。さらには学生全員の前で発表し、また、他の学生の作品を見て評価することが出来るようになることが目標である。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、実習を通して「考える」・「まとめる」・「やり遂げる」という学習を採り入れる。基本的にシラバスに則って授業を行うが、進捗状況、理解度に応じて、スケジュールを変更することがある。また、欠席した者、授業内でできなかった学生は、必ずその日に行った授業内容を確認および自宅学習し、次の授業までに準備してくること。				
注意点	・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告しすること。 ・授業中の私語や受講態度、および教室での飲食、器物損壊などには厳しく対処する。 ・課題の進捗状況に応じて、板書等で説明したり、資料を配布する。				
評価方法		割合	備 考		
	試験・課題	50%	成果物を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	15%	調べ上げる力・考える力を身に付けさせるために実施する（レポートを含む）		
	成果発表 （口頭・実技）	15%	プレゼンテーション能力を評価する		
	平常点	20%	授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス 課題説明		マンションのリノベーション カラーと素材、配色・色の組み合わせ オリジナルアイテムのエスキス		
2回	課題1：マンションのリノベーション		インテリアエレメント説明、住宅設備機器の説明、仕上げ、オリジナルアイテムを2案検討		
3回	課題1		マテリアルボード作成説明、ショールームの紹介・説明		
4回	ショールーム見学		内装仕上げ材の見学・サンプル請求		
5回	課題1		マテリアルボード作成		
6回	課題1		マテリアルボード作成		
7回	外部施設の見学		建材、内装材および照明その他の見学		
8回	講評会		マテリアルボード講評会		
9回	課題2：課題説明 店舗設計		店舗の内装設計 課題説明 コンセプト、エスキス①		
10回	課題2		エスキス②、イメージ図		
11回	課題2		図面作成①（平面、断面）		
12回	課題2		図面作成②（展開図、パース）		
13回	課題2		プレゼンシート作成①（イメージボード、カラースキーム、マテリアルボード）		
14回	課題2		プレゼンシート ブラッシュUP		
15回	講評会		プレゼンシート講評会		